

## 2. 市政に関する具体的なテーマを用いた手法の検討について

- 意向把握から市民参加（議論）を経て着地点を見出すことを実際に行い、その過程から、今後の「仕組みづくり」の議論のヒントを得ることを目的とした実験を実施。

### (1) 実験の概要と題材について

#### [実験の概要]

| 第3・4回会議                            | 実験期間                                       | 第6回会議以降                          |
|------------------------------------|--|----------------------------------|
| 内容の検討                              | 各主体へ調査                                     | 結果の分析                            |
| ① 題材の課題を共有<br>② 手順の決定<br>③ 工夫のアイデア | ・ 約3か月程度<br>・ 市が主体で実施<br>・ 内容によって委員のご協力も得る | ① 課題の抽出<br>② 仕組みづくりに生かすべきポイントの検討 |

課題や改善点を抽出し、今後の議論のヒントを得る

#### [成人の日行事（題材）の概要]

- ・ 毎年「成人の日」前後に開催
- ・ 対象は20歳を迎える方（R6.1は17,909人）
- ・ 参加率は全市平均61.2%（最高は清田区81.4%）
- ・ **主催は各区成人式実施委員会（地域の方々に構成）**
- ・ 市が各区に**100万円**の事業費を負担
- ・ 催事の内容は区によって異なる
- ・ 会場は実施委員会が確保

### (2) 実験手法の検討

#### ["行政目線"の成人の日行事のイメージと課題]

|     | 基本スタンス                         | 現状のイメージや課題                                  |
|-----|--------------------------------|---|
| 新成人 | ・ 記念のイベントに地元の友人たちと参加して一緒に楽しみたい | ・ 式典そのものよりもクラスの雰囲気を楽しんでいる                   |
| 地域  | ・ 地元の若者の成人を地域として祝いたい           | ・ 高齢化や担い手が不足<br>・ 企画・運営にかかる負担が大きい           |
| 行政  | ・ 新成人や地域の思いを尊重しながら開催を支援したい     | ・ 開催をサポートするために運営業務を一部担う必要<br>・ 会場費等の費用負担が増大 |

#### [手順案]

| 1. アンケート調査  | 2. 調査を基に議論                                  | 3. 結果の分析                                      |
|---|---|---|
| 成人式に関する調査<br>[対象]<br>・ 19歳（無作為）<br>・ 大学生<br>・ 実施委員会 | 着地点を見つける<br>[対象]<br>・ 若者<br>・ 実施委員会<br>・ 行政 | 「調査→議論→着地点の見出し」の実験結果から、仕組みづくりの議論に生かすポイントを見つける |

